

平成26年度 中之島小・中学校グランドデザイン

学校教育目標 「豊かな人間性の実現を指し、心身共にたくましく育つこと」	経営の基本方針	1 人間尊重・生命尊重の精神が貫かれ、一人一人のよさや可能性が最大限に発揮される児童生徒最優先の立場に立って、心の通い合う教育活動を推進す。(児童生徒の自尊心を高める。)	各種団体との連携 ・PTA ・学校関係者評価委員会 ・信頼される学校づくり委員会 ・学校評議員会 ・社会教育学級 ・スポーツ少年団 ・子ども会 ・ふるさとづくり委員会 ・各種地域活動		
	目指す学校像	○ 一人一人が生きがいをもち、笑顔と自己存在感のある学校 ○ 花と緑に囲まれ、美しく、秩序と落ち着きのある学校 ○ 児童生徒が励まし合い、助け合い、生き生きと活動している学校 ○ 家庭・地域と強い絆で結ばれ、信頼される開かれた学校			
	目指す教師像	○ 児童生徒理解に優れ、教育の専門家としての確かな力量を持つ教師 ○ 教育者としての情熱、使命感・責任感、児童生徒への愛情あふれる教師 ○ 人間性豊かで的確なコミュニケーション能力を持つ教師 ○ 健康で明るく、児童生徒・保護者・地域から信頼・尊敬される教師			
	職員研修	※小規模・小中併設のよさを生かし、一丸となって課題解決を図り、教師の脂質や専門性を高め合う。 1 テーマ研修(授業を通して専門性を高める) 2 一般研修(幅広い資質を高める体験的研修)			
	目指す児童・生徒像	○明るく思いやりのある子 ○よく考え進んで学ぶ子 ○ねばり強くたくましい子			
	「小規模、小中併設のよさを最大限に生かす」				
	「本校全教職員で、全児童生徒を育てる」	「和して励む」			
	特に伸ばしたい力：自己表現力・郷土愛・自主自立の精神・学力・自己管理能力・健康・体力				
	全人教育	健康・安全		「一座建立」の精神	
	校訓	やさしく<<徳>>		かしこく<<知>>	たくましく<<体>>
教育課題解決のための具体策					
教育課題	自立心を育てる心の教育 郷土を誇りに思い愛する豊かな心とコミュニケーション能力を育成し進路を拓く。	基礎学力の定着・向上 確かな学力の定着・向上と自ら学ぶ態度の育成を図る。	健康でたくましい心と体の育成 健康・安全の意識を高め、困難も根気強く乗り越えるたくましい心と体を育成する。	教育環境の自主整備 よりよい学校環境づくりに進んで取り組む自主的態度を育成する。	開かれた特色ある学校づくり 中之島の特色(人・もの・こと)を活かした学校づくりに努める。
具体策	※ 自主自立に向けて、的確な児童生徒理解のもと、全職員同じ方向性を持ち、温かく対応する。 ・ あいさつ指導の徹底と地域ぐるみの運動展開 ・ 主体的、計画的児童・生徒活動の展開 ・ 実態を踏まえ、重点化された道徳内容項目の実践(勇気・向上心・個性伸長・礼儀・勤労・郷土愛等) ・ 児童生徒の人権意識・自尊心を高める指導 ・ 9年間を見通した、小中一貫の進路指導	※ 極小規模、小・中併設のよさを生かし、全職員の専門性と総力を結集して、学力の定着・向上を図る。 ・ 複式指導及び少人数における学習指導の工夫 ・ 生活時間の見直し(睡眠時8時間以上の確保) ・ 習熟の時間(チャレンジタイム)の充実 ・ 言語活動(読・書・聞・話)の充実 ・ 一人あたり年間読書目標80冊(100:80:60) ・ TV会議による学校間の遠隔授業等の推進 ・ 学習意欲を喚起する、学習の跡が見える設営	※ 児童生徒の命を守るため自らの健康・安全の保持増進と主体的な体力向上への取組・習慣を支援する。 ・ 保健タイムの充実(容儀、疾病の予防、心の健康) ・ 早寝・早起き、朝ごはん等生活リズムの確立 ・ 食に関する指導の充実(栄養教諭との連携) ・ 年間を通した一校一運動(※一輪車、10分間走) ・ 安全教室・防犯訓練の実施と強化	※ 「一座建立」:職員・児童生徒が一体となり、整然と美しい、生き生きとした環境を造り上げていく。 ・ 花いっぱい運動(播種からの世話)の推進 ・ 一人一プランター運動 ・ 計画的な職員作業実施と校内一月一人一設営 ・ 特別教室や倉庫等の整理整頓や設営 ・ 後ろ姿を見せる掃除の指導徹底	※ 家庭・地域との絆を深め、地域の特色、教育力を最大限に活用し、中之島ならではの特色ある教育活動を展開していく。 ・ 運動会、文化祭(土曜実施へ)などの充実 ・ 中之島御岳太鼓活動の奨励・支援 ・ 各種コンクールへの積極的応募(一人一入賞以上) ・ 地域と連携した山海留学サポート体制の確立 ・ ビワ栽培、愛鳥活動、高齢者とのふれあい等人材を活用した総合的な学習の時間の充実

大きな自信・自尊感情



自立へ(15の旅立ち)